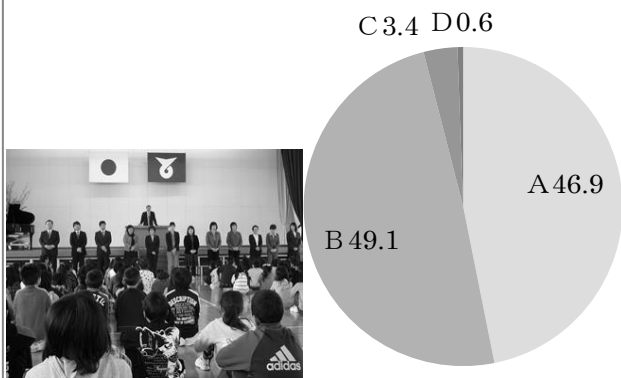


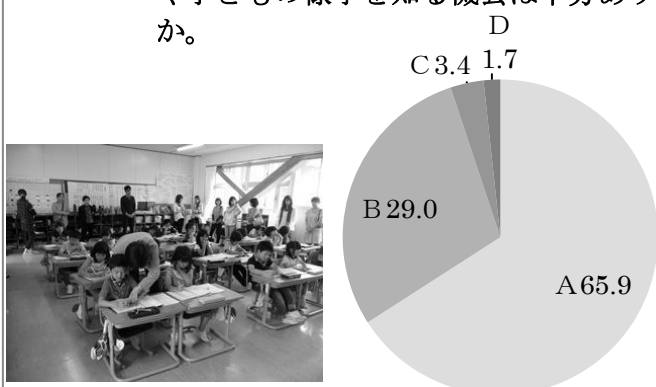
平成 24 年度 天童市立高掬小学校 学校評価 保護者アンケート結果の分析

1 今年度の本校の重点についてわかりやすく示されていますか。



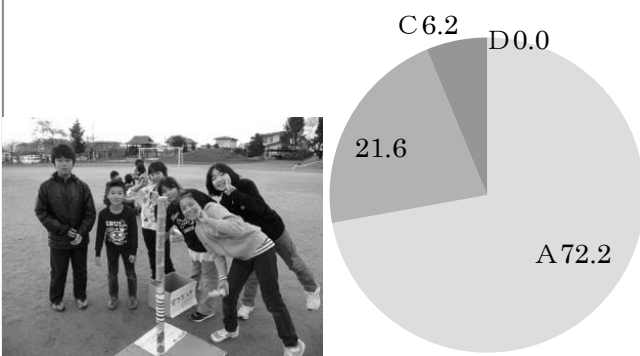
A（そう思う）の割合が昨年度の36.1%より10%増え、B（ややそう思う）のプラスの評価を含めると96%と高い評価を頂きました。今後はさらにA評価の割合を高めていけるようにPTA総会をはじめ、機会あるごとに本校の重点について積極的に発信し、理解を頂きなが教育活動に取り組んで参ります。

2 授業参観・フリー参観・学校行事等，学校や子どもの様子を知る機会は十分ありますか。



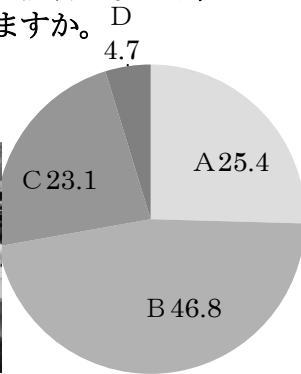
A（そう思う）の割合が高く、来年度も今年度と同じように、子どもの様子を直接見て頂く機会を年間計画に位置づけて参ります。
また、いつでもご来校くださって子どもたちの様子をご覧頂きたいと思っています。

3 お子さんは楽しく学校に通っていますか。



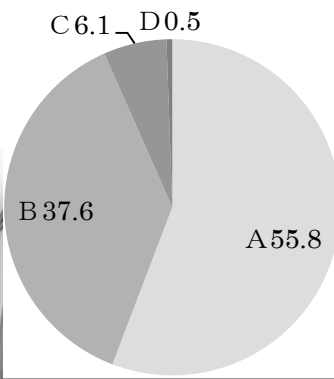
A（そう思う）の割合が高く、児童アンケートと同じ傾向になっていることは、大変嬉しいことです。
これからも児童一人一人が希望をもって登校し、笑顔で下校できるように教職員が一丸となって学校づくりに取り組んで参ります。

4 お子さんは読書に親しみ、進んで読書
をしていますか。



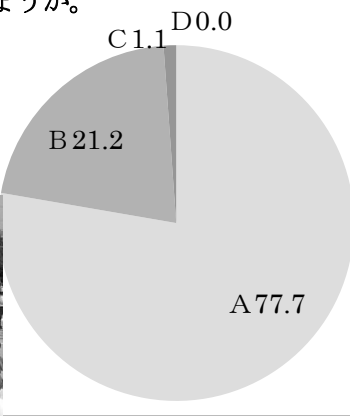
A（そう思う）の割合が昨年度の30.1%より5%低くなっています。B（ややそう思う）の割合は昨年度より10%高くなっています。今年度学校が取り組んだ親子読書の取り組みを推進するなど家庭での読書の機会や時間を確保するための工夫を講じながら読書活動の充実を図っていききたいと思います。

5 清掃、交流給食など様々な場面で縦割り班による
取り組みをすすめてきましたが、子どもたちの
心を育む活動になっていますか。



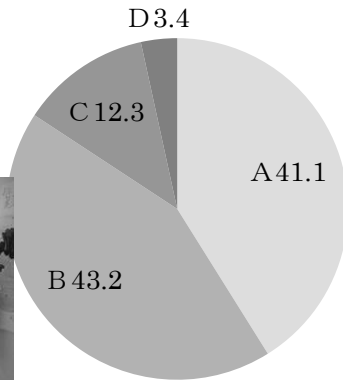
縦割り班の活動については、保護者も子どもたちもその意義を実感しています。上学年については、思いやりの心を育む、下学年については、集団性や協調性の心を育む場となっていることを大切にしながら、来年度も計画的に位置づけていきたいと思います。

6 運動会や相撲大会、学習発表会などの行事では、
子どもたち一人一人の力を発揮できる場
になっていたでしょうか。



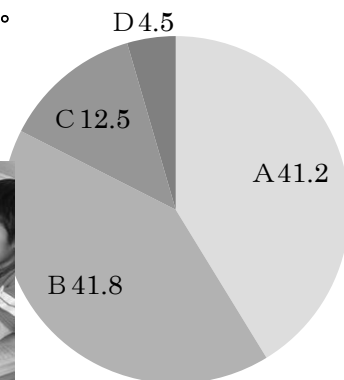
A（そう思う）の割合が昨年度の62.4%より15%増え、B（ややそう思う）のプラスの評価を含めると98.9%と高い評価を頂きました。これからもねらいを明確にし、行事で育てたい力を確認しながら、子どもたちと向き合い、一人一人の力が発揮できるように取り組んでいきます。

7 家族や先生、地域の人に、お子さんから挨拶ができていますか。



A（そう思う）の割合が昨年度の24.1%より17%増え、全体的にみた場合に挨拶が出るようになってきていると評価しています。一方で、児童がAと評価した割合が73.3%に対して保護者は41.1%に留まっています。学校以外の場所での挨拶が今後も進んでできるように声かけをしていかなければならないと思っています。

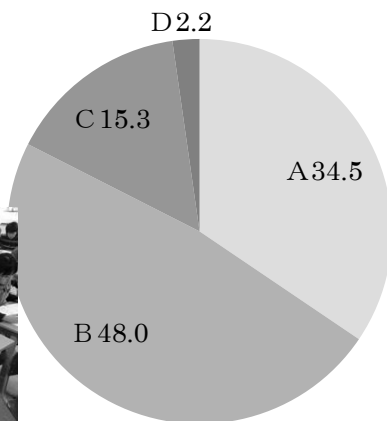
8 教職員は、子ども達に学ぶ意欲を高め、子ども達がしっかりわかるまで、丁寧に教えていると思いますか。



同じ内容で保護者と児童にアンケートをとりました。A（そう思う）の割合について、保護者の41.2%の結果に対して、子どもたちのAの割合は87.3%と高い評価結果になっています。

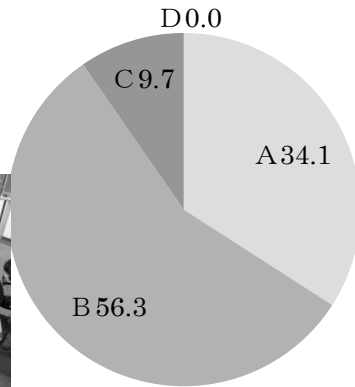
学ぶ意欲と個別指導を大切に授業づくりをしていることが保護者の皆様に伝わるような確かな授業実践を重ねていかなければならないと思っています。

9 お子さんは、家庭学習の習慣が身につきましたか。



A（そう思う）の割合が昨年度の15.8%より約19%増え、Cの割合が7%減る結果になっています。全体的には家庭学習の習慣が見についてきていると思われれます。今後は児童アンケートの結果にもあらわれているように、宿題をするだけの受け身の学習から家庭学習でどんな内容を学習すべきかを考え、「工夫」を加えた家庭学習ができる力を身につけさせていきたいものです。

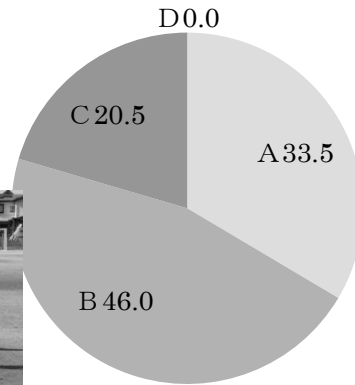
10 地域に関心を持ち、地域が大好きな子どもを育てるために地域の方々や地域の素材を教育活動に積極的に取り入れてきましたが、その取り組みは、効果的なものになっているでしょうか。



A（そう思う）の割合が昨年度の51.1%より17%減少しています。

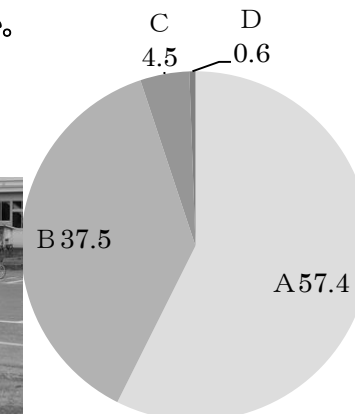
生活科や総合的な学習の時間、社会科の授業、高橋遊び村などに地域の方々をお呼びして教育活動を行ってきましたが、学年ごとに先を見通して、教育活動が充実するように計画的に地域の方々をお呼びすることに一層心がけていきたいと思えます。

11 体力づくりに取り組んでいる学校の取り組みが伝わっていますか。



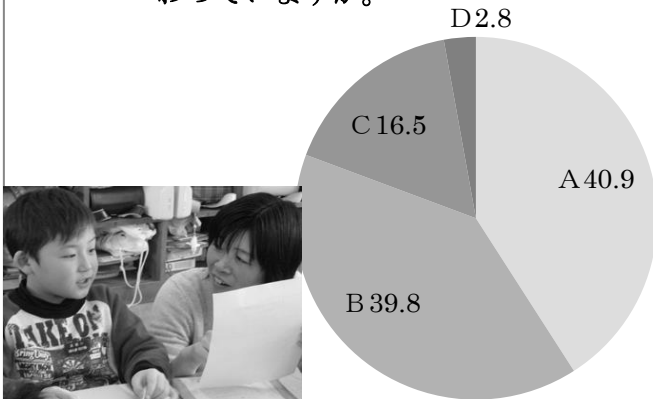
マラソンカードやなわとびカードに取り組ませたり、100m走のコースをひいて意欲をもっていつでも走れるように環境を整えたりしてきました。積極的に取り組む児童とそうでない児童との差がでないように個別に声かけをしながら、やる気を引き出し、すすんで体力づくりに取り組むことのできる子どもの育成に努めて参ります。

12 お子さんは、登下校や自転車乗り、遊びについて、安全に気をつけながら生活できていますか。



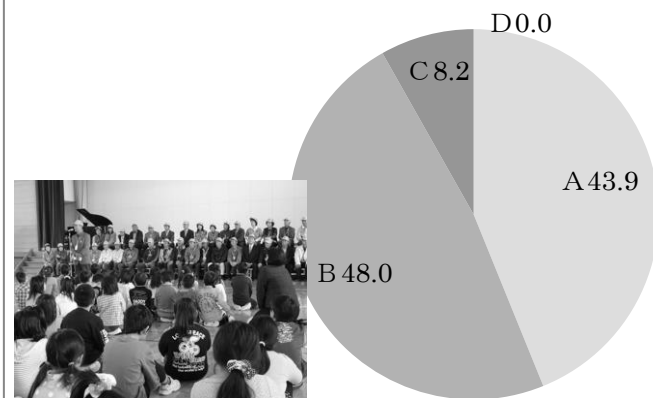
A（そう思う）の割合について保護者と児童のアンケート結果を比べると児童は保護者より25%も多く82.5%という結果になっています。今の自分の行いに満足するのではなく、より一層自分のいのちは自分で守ろうとする意識をあらゆる機会を捉えて高めていく必要があると考えています。

1 3 子ども一人一人の特徴に合わせた教育を進めていますが、学校の取り組みが十分伝わっていますか。



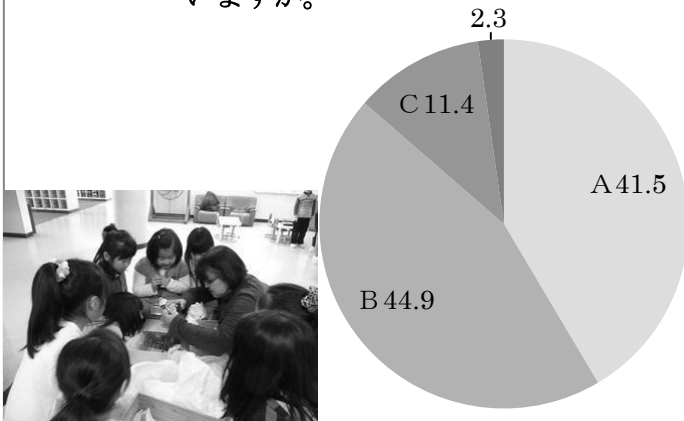
A（そう思う）の割合は昨年度の23.3%より約18%増え、Bの割合については26%減って39.8%に留まる結果になっています。個別の支援によって生活力、学習力の向上が期待できるお子さんについては、今後も保護者との面談をするなどして連携を大切にしながら取り組んで参ります。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

1 4 地域の自然や文化、人材を活用した活動は十分に行われていますか。



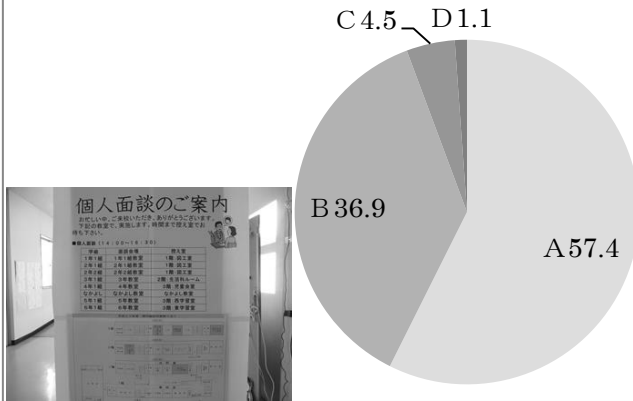
A（そう思う）の割合が昨年度の55.6%より12%減少し、その分BとCの割合が高くなっています。生活科や総合的な学習の時間の年間計画を見直し、また、地域の自然や文化に関わる活動の意義も再確認しながら、ねらいに即して地域の方々にご指導をいただきたいと考えています。

1 5 子どもの話に耳を傾け、適切に対応していますか。



A（そう思う）の割合が子どものアンケート結果の46.6%と比べると若干低くなっている。また、C、Dのマイナスの評価をした方は合わせると13.7%（24名）である。
今年度取り組んだ「くらしのアンケート」を来年度も随時取りながら、子ども一人一人の話に耳を傾け、適切に対応していることが保護者の方々に伝わるように努めて参ります。

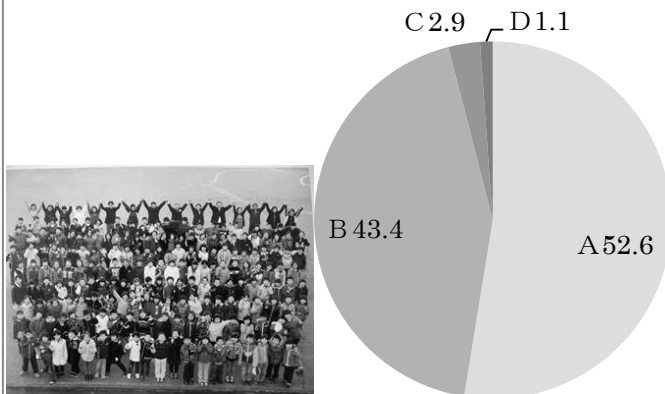
16 お便りや家庭訪問、学級懇談会、保護者会（通知表）などで、お子さんのがんばっている様子を十分に説明していますか。



A（そう思う）の割合が半数を超え、Bの割合と合わせると94.3%と高い値になっています。

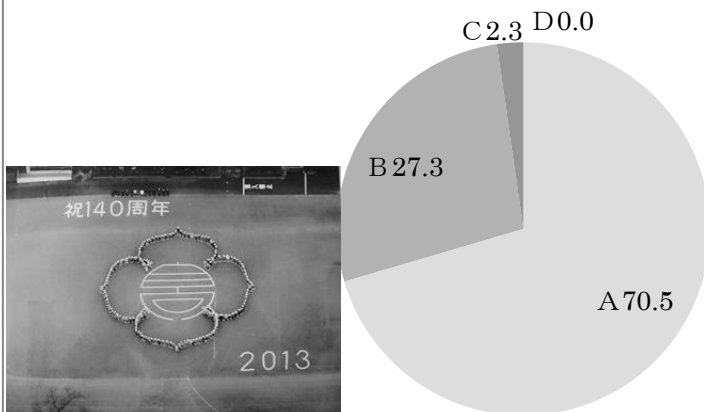
来年度も今年度同様、学校日より、学級だよりをはじめ子どもたちのがんばりの様子を具体的に伝えられるように努力して参ります。

17 保護者や地域の方々の声を受けとめて、対応に努めていますが、家庭や地域に信頼される学校になっているでしょうか。



A（そう思う）の割合が昨年度より若干増えて50%を超え、Bの割合を含めると96%という高い結果になっています。今年度学校として取り組んできたことが保護者や地域の方々に理解され、評価していただいたことのあらわれだと大変うれしく思っています。今後もAの割合が高くなるように教職員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

18 学校ホームページや安全・安心メールで学校の様々な情報をお届けしていますが、有益なものになっているでしょうか。



A（そう思う）の割合が昨年度の36.4%より大幅に増えました。

今後も随時子どもたちのがんばりの様子をホームページでお伝えしたいと思います。

安全・安心メールについても不審者情報や緊急性を要すること、PTAからのお知らせなどを連絡させていただきますので、引き続き加入をよろしく願います。